

## 令和8年度 京都市建設局 業務プロセス最適化及び DX推進支援業務に関するプロポーザル 提案内容評価要領

### 1 基本的な考え方

この業務の受託者を決定するため、プロポーザルにより提案内容の評価を行い、受託候補者の順位付けを行う。

提案内容の評価は、次のとおり、技術力と見積価格を総合的に判定する。

(1) 技術力の評価

企画提案書に基づき提案内容の評価し、「技術点」を与える。

「技術点」は、80点満点とする。

(2) 見積価格の評価

見積価格を後に示す計算式に基づき計算し、「価格点」を与える。

「価格点」は、20点満点とする。

(3) 受託候補者の選定方法

「技術点」及び「価格点」を合計し、合計点数が最も高い者を受託候補者（第一交渉権者）とする。ただし、受託候補者が本市の示す「プロポーザルの参加資格」を満たしていない場合は、採用しない。

(4) 有効数字

「技術点」の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

(5) 合計点数が最も高い者が2以上あるとき（同点）の対応

ア 提案者それぞれの「技術点」と「価格点」が異なる場合

「技術点」が高い者を受託候補者とする。

イ 提案者それぞれの「技術点」と「価格点」が同じ場合

くじ引きにより、受託候補者を決定する。

### 2 技術点の評価【80点】

(1) 評価項目及び配点

別紙「提案内容評価表」に基づき採点を行う。

(2) 評価方法

ア 項目評価点の考え方

評価対象の各項目を下記5段階で評価する。

基 準	評価	得点
本市の評価基準を満たし、ほぼ全てが期待以上である。	A	5
本市の評価基準を満たし、一部が期待以上である。	B	4
本市の評価基準を満たしている。	C	3
本市の評価基準を一部満たしていない。	D	2
本市の評価基準をほとんど満たしていない。	E	1

イ 項目加重点の考え方

評価項目の重要度に応じて、項目ごとに加重点を設定する。

ウ 技術点の計算

技術点は、次の式により計算する。

① 項目評価点＝評価点×項目加重点

② 技術点＝項目評価点の合計

エ 採点方法

「提案内容評価表」に基づき、各審査者が採点した点数（価格点を除く。）につい

て、各項目の最高点と最低点を除いたものの平均点を算出し、各項目の平均点を合計する。

なお、同じ最高点、最低点を付けた審査者が複数いたときは、それぞれ1人分の点数を除く。

オ 技術点の減点について

提案書作成の条件を大きく逸脱している場合は、評価しないことがある。

### **3 価格点【20点】**

価格点の計算は、以下の式により行う。

$(\text{全提案者中の最低金額} / \text{当該提案者の金額}) \times 20$  (小数点以下切捨て)

ただし、見積価格が本市の示した契約上限額を超過している事業者については、技術点が優れている場合にあっても採用しない。

## 提案内容評価表

評価項目		評価事項	5段階 評価点	項目 加重点	配点	備考
技術点	実施体制	本業務の内容を安定的に実施できるよう、適切な人員や業務経験者等が割り当てられているか。		1	5	
		本業務を効率的かつ円滑に進めるため、適切なスケジュール、実施方法が提案されているか。		2	10	
		京都市内に本社、支社、営業所のいずれかを有しているか。	-	-	5	市内に有する場合5点。有さない場合1点
	企画提案内容	仕様書で規定した内容を理解した提案がなされているか。		1	5	
		自治体における業務改善に対する理解度があるか。		1	5	
		業務改革につながる提案がなされているか。		2	10	
		独自の工夫や特徴が盛り込まれ、本事業の効果をより発揮できる提案があるか。		4	20	
	導入実績	提案内容に類似又は関連する業務を実施した実績があるか。		2	10	
		他都市等の官公庁での導入実績はあるか。		2	10	
			小 計			80

価格点	(全提案者中の最低金額／当該提案者の金額) × 20 (小数点以下切捨て)		20	
	小 計		20	
合 計			100	